

海外留学部門活動報告

国際教育交流センター海外留学部門

岩城 奈巳・星野 晶成・宮崎 千穂・河嶋 春菜・孝森 めぐみ

はじめに

海外留学部門における平成30年度の活動を「1. 情報提供」、「2. 学生指導」、「3. 語学強化の取り組み」、「4. 海外の協定校に関する情報収集」、「5. 新たな取り組みとその他留学促進に関する活動」に分けて紹介し、最後に来年度に向けての課題を提示する。

1. 情報提供

海外留学部門における情報提供活動は、各種留学説明会（留学プログラム別、学部・研究科別、学位留学、保護者対象、奨学金など）、Webサイト、メール配信、フェイスブック、パンフレットスタンド、学内掲示、帰国報告書や留学関連の図書貸出などを通して行っている。メール配信登録者は954名、フェイスブック（アカウント名：名大海外留学室）登録者は913名である（平成31年3月現在）。平成30年度に開催した各種情報提供は表1の通りであり、実施したイベントに計2690名の学生が参加した。

2. 学生指導

1) 個別相談

今年度の個別相談は969件であった。基本的に個別相談は予約制であるが、お昼休み、授業後などの飛び込み相談も多く、件数に入っていない対応も多い。また、電話でも簡単な相談には対応している。

2) 派遣学生に対する指導

〈全学間協定に基づく交換留学〉

・平成30年度派遣について

全学間協定に基づく交換留学によって今年度派遣される予定の学生に対し、出願から出発までの支援と指導を行った。派遣学生の一覧は表4の通りである。

・平成30年度〈秋派遣〉について

来年度派遣分の交換留学生（全学間協定に基づくもの）については、7月の説明会より応募開始とした。今回募集した受入れ協定校は資料1の通りであり、36件の応募があった。そのうち、書類選考合格者は30名であった。交換留学実施委員会で構成される選考部会において個別面接を行った結果、26名の交換留学候補者を選出し、候補者（条件付き合格1名、不合格4名）となった。さらに枠が空いている協定校について二次募集を行ったところ、21名の応募があり、1名辞退、書類審査にて2名不合格、18名に面接を実施（2名面接不参加）、16名が合格し（2名条件付き合格）、計42名の学生が秋派遣候補生となった。交換留学候補の所属部局、学年（応募時）は表4（右半分）の通りである。また、候補者決定通知の後、留学準備期間の過ごし方についてのオリエンテーションを行い、早い段階から留学生としての自覚を促し、自立心をもって準備に取り組むよう説明した。このオリエンテーションでは留学先は異なっても、留学同期生と出会い、ネットワークを構築させ、情報交換を促進させることも目指している。なお、オランダのラドバウド大学、トゥエンテ大学には協定締結後初めて学生を派遣する。

・平成30年度〈春派遣〉について

募集した受け入れ協定校は資料2の通りであり、7件の応募があった。面接の結果、7名全員合格したが、1名は家庭の都合により辞退したため6名の派遣となった（1名韓国、5名オーストラリア）。ニューサウスウェールズ大学へは協定締結後初の派遣となる。選考方法、決定後のオリエンテーション実施は秋派遣と同様である（秋派遣参照）。

・〈全学教養科目の展開〉

平成26年度のスーパーグローバル大学創成事業

申請・採択に伴い、NU-OTI (Nagoya University Overseas Take-off Initiative) という標語を掲げ、平成27年度より教養教育院にて海外での学外活動を含む全学教養科目特別講義を開講した。平成30年度は、合わせて6つの科目を開講し、それぞれ学内および学外(海外)での学習を合わせた教養学習を実施した。春学期開講は、米国・ノースカロライナおよびウズベキスタンで学外活動を実施する科目、秋学期開講は韓国、タイ、欧州(フランス・ベルギー)、米国・オレゴンで学外学習を実施する科目である。モンゴルでの学外活動を含む科目は、不開講とした。ウズベキスタン、欧州、タイでの学外活動には教員が全日程で引率し、米国・オレゴン、米国・ノースカロライナへは一部の日程を教員が視察を行った。韓国での活動は、今年度初めて引率なしで実施した。

NU-OTI 全学教養科目は、それぞれ異なる到達目標と内容を設定している。その特徴は、ウズベキスタン科目はフィールドワーク、韓国科目は言語文化学習、欧州科目は文化体験学習、タイ科目は日系機関・企業訪問による学習、米国二科目は大学生生活体験である。ウズベキスタン科目、韓国科目、欧州科目は、現地プログラムも含めて授業副担当教員が設計し、引率を含め全ての授業を運営した。履修生は、フィールドワークもしくはプレゼンテーションの方法を体系的に学び、各自の設定したテーマと学習計画に沿って授業副担当教員から指導を受けた。米国二科目の現地プログラムは協定校の設計による。いずれの科目でも、帰国後の授業において口頭報告を実施し、授業全体を振り返った。

平成30年度は、この全学教育科目の枠組みにおいて、合わせて86名の学生を海外へ派遣した。各科目とも、教育効果および危機管理のため、副担当教員が事前に研修先の視察を行い、本学海外事務所の教職員との協力体制のもとで科目を実施したことが一定の成果

につながったと考えられる。

・〈特別海外研修〉

渡航前学習と語学研修を合わせた海外研修プログラムである。平成30年度春学期は、オーストラリアのモナシュ大学(英語研修、GPPの2研修)とフランスのエクスマルセイユ大学での研修を実施、秋学期にエジンバラ大学での研修を実施した。合わせて41名の学生が参加した。モナシュ大学(英語研修)およびエクスマルセイユ大学研修は本年度新たに実施した。

・〈協定校主催の短期研修〉

平成30年度は、夏・春合わせて、8プログラムに20名の学生が参加した(詳細は表5を参照)。

〈安全危機管理〉

平成30年度は、全学生向けの危機管理オリエンテーションを、合計6回(春学期:2018年6月27日、7月11日、8月6日[大幸キャンパス]、秋学期12月12日、13日[大幸キャンパス]、2019年1月9日)実施した。今年度から、東山キャンパスだけでなく、大幸キャンパス(医学部保健学科)でも実施することとなった。オリエンテーションの具体的内容として、渡航前の準備、渡航中の安全対策、海外旅行保険加入、テロ対策、そして、緊急時の連絡体制について、案内と指導を行った。今年度は全学生対象のオリエンテーション以外に、要望があった部局の海外留学プログラムに対して出張講義の形で実施した。また、昨年同様、名古屋大学生協の旅行カウンターとも協働して、個人で渡航する学生に対してもオリエンテーションへの参加を促した。結果、全6回と部局で実施した出張講義の合計出席者数は417名(昨年度411名)を超えた。なお、NU-OTI 全学教養科目に参加する学生に対しては、研修前の授業の一部として教員が、その国に特化した内

全学教養科目特別講義授業名	海外拠点名	渡航先国名(協定校名)
アジア現代事情 I	ウズベキスタン事務所	ウズベキスタン(世界経済外交大学、タシケント国立法科大学、サマルカンド国立大学)
アジア現代事情 II (開講せず)	モンゴル事務所	モンゴル(モンゴル国立大学)
アジア現代事情 III	—	大韓民国(木浦大学校)
アジア現代事情 IV	バンコク事務所	タイ(チュラロンコン大学)
欧州現代事情 I	—	フランス(ランス大学)
米国現代事情 I	Nagoya University Technology Partnership	米国(ノースカロライナ州立大学)
米国現代事情 II	—	米国(オレゴン大学)

容を含めて危機管理オリエンテーションを実施した。

〈名古屋大学長期留学支援プログラム（大学院留学型）〉

今年度は、4名の学生より応募があった。4名とも書類選考で合格したが、1名辞退したため、3名が面接に進み、全員が合格した。

3. 語学強化の取り組み

〈特別英語セミナー〉

前期に特別英語セミナーを開講した。この講義は、TOEFL-iBTの特にライティングに特化して開講するもので、全学の留学希望者に向けて開講している。今年度は受講した1名の学生がブリストル大学へ交換留学、1名の学生はオレゴン大学にて開催した全学教養科目の研修に参加した。

〈留学準備語学講座（夏・春）〉 〈フランス語講座〉

昨年同様、英語力強化のために夏期と春期の両方でIELTSの講座を実施した。IELTS対策と留学準備を含めて、夏期は8月20日から8月30日、春期は2月12日から22日の期間で実施した。受講者は計45名（夏：21名、春：14名）で、全学問または部局間交換留学に出席したい学生が参加し、岐阜大学から1名、愛知教育大学からは3名の学生が受講した。

平成30年度の新たな取り組みとして、春学期に「留学準備フランス語講座」を実施した。DELFB2レベル取得または受講前に比して1レベル向上を目指すプログラムとした。学部生から大学院生まで13名が受講し、全員がレベル向上を達成した。なお、受講生のうち5名は夏のマルセイユ研修の事前準備として本講座に参加した。

4. 海外の協定校に関する情報収集

海外留学に関する情報収集活動は以下の通りである。

- ・ 4/10 ダラム大学関係者来訪
- ・ 4/25 オレゴン大学関係者来訪
- ・ 5/9 南イリノイ大学関係者来訪
- ・ 5/14 ノースカロライナ州立大学関係者来訪
- ・ 5/25 シドニー市副市長表敬

- ・ 5/25-5/31 NAFSA 年次総会@米国 フィラデルフィア
- ・ 6/2 モンテレイ工科大学関係者来訪
- ・ 9/2-10 アイスランド大学、ラドバウド大学、トゥエンテ大学訪問
- ・ 10/15 オレゴン大学関係者来訪
- ・ 10/16 フランス大使館関係者来訪
- ・ 10/22 モナシユ大学関係者来訪
- ・ 11/1 ケンタッキー大学関係者来訪
- ・ 11/8 ミネソタ大学関係者来訪
- ・ 11/16 カンタベリー大学関係者来訪
- ・ 11/19 モンゴル事務所来訪
- ・ 1/4 ノースカロライナ州立大学関係者来訪
- ・ 3/5 ランス大学関係者来訪
- ・ 3/12 ヘルシンキ大学関係者来訪
- ・ 3/24-29 APAIE 年次総会@マレーシア クアラルンプール

〈NAFSA および APAIE ブース出展〉

国際プログラム部門 (NUPACE) と協働し、例年通り名古屋大学としてブースを出展した。現協定校担当者との交換留学プログラムの調整・議論（特に交流人数が偏っている大学とこれまで交換実績が少ない大学を中心に）や、新規協定校候補とのプログラム内容や協定書に関する議論・交渉、セッション等へ参加し、国際教育交流の情報収集を行った。シンガポール国立大学（締結済）やブリティッシュコロンビア（2019年度締結予定）など世界ランキングのトップ大学との協定締結に向けて議論した。

5. 新たな取り組みおよびその他留学促進に関する活動

以上に詳述した活動と並行して、海外大学との新たな学生交流協定の締結に向けた協議を行ってきた。その結果、本年度は、以下の海外大学と学生交流協定を締結した。

おわりに：今年度の総括と来年度への課題

留学を希望する学生を対象とした説明会、オリエンテーションを例年通り多数実施し、メーリングリス

国名	大学名	種別	授業料 不徴収	締結年月日
チェコ	チェコ工科大学	全学間	有	2018年10月17日
シンガポール	シンガポール国立大学	全学間	有	2018年08月17日
オランダ	ラドバウド大学	全学間	有	2018年05月22日
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	全学間	有	2018年04月16日

ト、フェイスブックなどSNSを利用して情報発信をした。今年度より、学生派遣の促進をめざす北欧地域の大学訪問を開始し、初年度はアイスランド大学、オランダのトゥエンテ大学、そして新規協定校のラドバウ

ド大学を訪問した。教員が訪問したことは学生にとって1つの安心材料となり、オランダの大学に学生を派遣することができた。今後も春夏の長期休暇を利用し協定校訪問をおこなっていききたい。

表1 平成30年度 セミナー・説明会・オリエンテーション等開催記録

内容	日時	計
海外留学入門セミナー（前期）	計15回（4/10-7/17）	170
説明会（交換留学春派遣）	4/18, 19, 25, 26	24
説明会（短期研修夏）	4/12, 19, 26, 5/10	170
説明会（モナシユ大学英語研修・名大特別研修）	4/19	24
説明会（短期夏：モナシユ GPP）	4/20	5
説明会（法学部）	4/26	63
説明会（教育学部）	4/25	45
説明会（工学部）	4/24	32
説明会（経済学部）	4/24, 26	107
説明会（情報学部）	4/18	13
説明会（農学部）	4/19	23
説明会（文学部）	4/25	20
説明会（理学部）	4/20	16
説明会（医学部保健学科）	5/9	3
説明会（保護者対象）	4/22	300
説明会（南イリノイ大学主催・協定校研修）	5/9	9
説明会（CIEE 主催）	5/24	20
説明会（仏語留学準備講座）	4/11, 25, 5/16	12
説明会（IELTS 留学準備講座・夏）	5/24, 6/28	13
説明会（交換留学秋派遣）	7/4, 8/6	30
説明会（オープンキャンパス）	8/8-10	600
講座（仏語留学準備講座・前期）	6/11-7/20	13
講座（IELTS 留学準備講座・夏）	8/20-30	21
安全危機管理オリエンテーション（前期）	6/27, 7/11, 8/6	201
安全危機管理オリエンテーション（GSID）	7/18	17
交換留学秋派遣：Pre-departure seminar	7/4	34
交換留学春派遣：オリエンテーション①②	7/4, 7/18	6
交換留学秋派遣：オリエンテーション③④	4/18, 7/11	34
米国事情 I 学生交流会	6/20	19
海外留学入門セミナー（後期）	計17回（10/2-1/29）	42
説明会（全学教養・特別研修合同説明会）	10/4, 11, 18, 25, 11/1	101
説明会（交換留学秋派遣2次募集）	11/26	11
説明会（スコットランド特別研修）	10/3	12
説明会（名大 EMI プロジェクト）	10/1 × 2回	87
説明会（CAMPUS FRANCE 主催）	10/16	10
説明会（CIEE 主催）海外ボランティア	11/15	8
説明会（米国大学院学生会主催）	12/19	50
説明会（中谷財団主催）	1/11	11
特別講演会（東海東京財団グローバル教育推進事業）	11/15	35
留学準備講座説明会（IELTS・春）	11/5, 12/3	14
留学準備講座（IELTS・春）	2/12-2/22	13
交換留学春派遣：オリエンテーション③④	10/3, 12/10	6
交換留学秋派遣：オリエンテーション①②	12/5, 2/13	34
第10回留学シンポジウム	12/9	53
安全危機管理オリエンテーション（後期）	12/12, 13, 1/9	81
安全危機管理オリエンテーション（部局・プログラム別） 環境学, 農学, ウェルビーイング, オレゴン	10/22, 10/31, 12/19, 2/12	78

表2 平成30年度 海外留学入門セミナー月別出席者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者数	123	36	8	3	0	0	28	6	2	6	0	0	212

表3 平成30年度 海外留学個人相談月別利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	108	145	71	64	74	55	150	75	72	57	57	41	969

表4 全学間学術交流協定に基づく交換留学生の派遣予定数

*学部研究科・学年はすべて応募時の所属に基づきます

表4-a 平成30年度秋派遣 計34名

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 7名	インド	インド科学大学院大学	工学研究科	M1
	インドネシア	ガジヤマダ大学	生命農学研究科	D1
	シンガポール	南洋理工大學	文学部	U2
		シンガポールマネジメント大学	経済学部	U2
	タイ	カセサート大学	経済学部	U3
	中国	香港大学	法学研究科	M1
		香港中文大学	法学研究科	M1
ヨーロッパ 16名	イギリス	ウォリック大学	文学部	U2
		ダラム大学	国際開発研究科	M1
		リーズ大学	人文学研究科	M1
		リーズ大学	工学部	U4
		リーズ大学	医学部保健学科	U2
		ロンドン大学東洋アフリカ学院	国際開発研究科	M2
	スウェーデン	ウプサラ大学	教育学部	U2
		ウプサラ大学	法学部	U2
	スペイン	バルセロナ大学	文学部	U2
	デンマーク	コペンハーゲン大学	教育発達科学研究科	M1
		コペンハーゲン大学	経済学部	U3
	ドイツ	ミュンヘン工科大学	経済学部	U3
	ノルウェー	オスロ大学	法学部	U4
	フランス	ストラスブール大学	人文学研究科	M1
		ストラスブール大学	人文学研究科	M1
ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学	経済学部	U4	
北米 11名	アメリカ	アイオワ州立大学	教育学部	U2
		オレゴン大学	法学部	U2
		シンシナティ大学	経済学研究科	D1
		シンシナティ大学	経済学部	U3
		ノースカロライナ州立大学	環境学研究科	M1
		ノースカロライナ州立大学	工学部	U4
		ノースカロライナ州立大学	工学部	U1
		フロリダ大学	教育学部	U2
		南イリノイ大学カーボンデール校	文学部	U3
		ミネソタ大学	工学部	U2
		ミネソタ大学	教育学部	U2

表4-b 平成30年度春派遣 計6名

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア1名	韓国	高麗大学校	工学部	U3
オセアニア 5名	オーストラリア	アデレード大学	工学部	U3
		オーストラリア国立大学	文学部	U2
		ニューサウスウェールズ大学	法学部	U3
		モナシュ大学	工学研究科	M1
		南オーストラリア大学	文学部	U3

表4-c 平成31年度秋派遣 計42名(予定)

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 9名	インドネシア	ガジヤマダ大学	経済学部	U2
		ガジヤマダ大学	農学部	U4
	韓国	高麗大学校	工学部	U4
	シンガポール	シンガポールマネジメント大学	経済学部	U2
		南洋理工大學	情報学部	U1
	タイ	カセサート大学	農学部	U2
	中国	香港大学	法学部	U2
		北京大学	人文学研究科	M1
		ビルケント大学	法学部	U1
ヨーロッパ 22名	イギリス	ブリストル大学	経済学部	U3
		リーズ大学	理学部	U3
		リーズ大学	工学部	U4
		ロンドン大学 SOAS	文学部	U2
	イタリア	ボローニャ大学	法学部	U2
	オランダ	トウエンテ大学	理学部	U4
		ラドバウド大学	文学部	U2
		ラドバウド大学	理学部	U3
	スイス	ジュネーブ大学	環境学研究科	D1
		ジュネーブ大学	法学部	U2
	スウェーデン	ウプサラ大学	法学部	U1
		ウプサラ大学	法学部	U1
		スウェーデン王立工科大学	工学部	U2
	デンマーク	コペンハーゲン大学	文学部	U2
		コペンハーゲン大学	経済学部	U2
	ドイツ	ミュンヘン工科大学	経済学部	U3
		ミュンヘン工科大学	工学部	U2
		ミュンヘン工科大学	経済学研究科	D1
		ミュンヘン工科大学	工学部	U4
	ノルウェー	オスロ大学	経済学部	U2
フランス	ストラスブール大学	人文学研究科	M1	
	リヨン第3大学	文学部	U3	
北米 11名	アメリカ	オレゴン大学	医学部保健学科	U3
		ケンタッキー大学	文学部	U3
		セント・オラフ大学	文学部	U2
		セント・オラフ大学	文学部	U2
		ニューヨーク大学	文学部	U1
		ノースカロライナ州立大学	工学部	U4
		ノースカロライナ州立大学	農学部	U4
		フロリダ大学	農学部	U2
		フロリダ大学	工学部	U2
		南イリノイ大学カーボンデル校	文学部	U2
		ミネソタ大学	情報学部	U2

表5 短期研修プログラム参加者数

種類	時期	科目名・大学名	渡航国	渡航者数
全学教養科目	夏	アジア現代事情Ⅰ	ウズベキスタン	12
		米国現代事情Ⅰ ノースカロライナ大学	米国	27
	春	アジア現代事情Ⅲ	韓国	9
		米国現代事情Ⅱ オレゴン大学	米国	12
		アジア現代事情Ⅳ	タイ	10
		欧州現代事情Ⅰ	フランス	16
特別研修	夏	モナシユ大学 GPP	豪州	4
		モナシユ大学 ME	豪州	20
		エクスマルセイユ大学	フランス	5
	春	スコットランド特別研修	英国	12
協定校研修	夏	木浦大学	韓国	1
		梨花女子大学	韓国	4
		南イリノイ大学カーボンデール校	米国	4
		フライブルク大学 8月	ドイツ	2
	春	フライブルク大学 9月	ドイツ	2
		南イリノイ大学カーボンデール校	米国	1
		フライブルク大学 3月	ドイツ	5
		南京大学	中国	1
総計				147